

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人

鎌ヶ谷市社会福祉協議会

平成28年度 事業報告

少子高齢化による人口減少など社会環境の変化に伴い、地域社会や家庭の機能が急速に力を失い、様々な問題が発生しています。

このような中、地域福祉の推進を図ることを目的とする本会は、本年度から平成32年度までの5年間を実施期間として「思いやりと支えあいのあるまちかまがや」を地域福祉像とした「地域福祉活動計画」を策定しました。この計画は、鎌ヶ谷市の「地域福祉計画」の目指す姿を共有し、具現化するための、継続的な事業展開を具体的に定めるものです。

また、新規事業として、11月より中学生対象の制服リユースを始めたところ、報道機関に取り上げられ、多数の制服が寄贈され必要とする生徒に利用されました。（提供者41名、利用者30名）権利擁護事業として日常生活自立支援事業、成年後見相談会、成年後見制度の啓発として、講演会を2地区社協共同で行いました。

なお、平成28年度に実施した事業の詳細につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 平成28年5月11日（水）

- ・平成27年度事業報告について
- ・平成27年度決算について
- ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正について
- ・評議員の同意について

第2回 平成28年5月28日（土）

- ・会長、副会長の選任について
- ・評議員の同意について

第3回 平成28年7月26日（火）

- ・補正予算案について
- ・地域福祉活動計画について

第4回 平成28年12月16日（金）

- ・定款の変更について
- ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正について
- ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- ・社会福祉大会について

- ・地域福祉活動計画について
- ・職員給与規程の一部改正について

第5回 平成29年1月10日（火）

- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
- ・評議員候補者の推薦について
- ・会員規程の一部改正について

第6回 平成29年3月17日（金）

- ・地域福祉活動計画について
- ・鎌ヶ谷市福祉作業所友和園運営規程の一部改正について
- ・職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部改正について
- ・経理規程の一部改正について
- ・車両購入積立金取扱規程の一部改正について
- ・補正予算（第3回）について
- ・補正予算（第4回）について
- ・平成29年度事業計画案について
- ・平成29年度予算案について
- ・表彰について

◎評議員会

第1回 平成28年5月24日（木）

- ・平成27年度事業報告について
- ・平成27年度決算について
- ・理事及び監事の選任について

第2回 平成28年12月22日（木）

- ・定款の変更について

第3回 平成29年3月24日（金）

- ・補正予算（第3回）について
- ・補正予算（第4回）について
- ・平成29年度事業計画案について
- ・平成29年度予算案について

◎内部監査 平成28年5月2日（月）

- ・平成27年度事業報告
- ・平成27年度会計決算諸表

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	9, 494, 243円 (28自治会)
②法人会費	425, 000円 (90件)
③施設・団体会費	288, 500円 (50件)

合 計 10, 207, 743円

*旧鎌ヶ谷東第一区連合自治会含む。

○自治会へ福祉事業費として、2, 344, 000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 啓発事業及び福祉団体等への支援

- ・社会福祉大会、社協だより、事業パンフレット、ホームページ等で啓発に努めた。
- ・市内に火災による災害が発生したため、全焼1件、死亡1名、半焼2件に対し見舞金を交付した。
- ・法外援護費（帰宅旅費）を9名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び一斉改選時の事務など関係行政等機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会や全国民生委員児童委員連合会が主催する研修会等への参加を図るなど、民生委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に480, 000円を助成し、その活動を支援した。
- ・市内全小中学校（14校）に福祉活動助成金として、一校当たり、50, 000円を助成し、福祉教育（校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等）の支援に努めた。
- ・福祉健康フェアの開催に協力した。
- ・すまいる祭りの開催。（250名参加）

2 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり展開した。

○ 中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ」（約5,800部）を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
ふれあい交流	茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の方を対象に、佐倉草ぶえの丘へバスの旅、健康指導・体操、わなげや玉入れなどのゲーム、及び「新年会（大正琴演奏鑑賞）」等で交流した。 <p>（年6回延べ261名参加）</p>
在宅福祉	介護予防教室 お年寄りとの交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に体操教室やウォーキング(3回)を実施した。（年4回延べ216名参加） ・一人暮らしの高齢者の方を対象に、4つの地域で各援護グループの協力を得て、交流会を実施した。（年8回延べ432名参加）
ボランティア育成	鎌ヶ谷中学校JRC委員会と地域の方との交流会 ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌中JRC委員会の生徒と地域の方とで、百人一首・茶道体験をしながら交流を図った。（53名参加） ・運営委員を対象に手話教室を2回、バス研修で「国会議事堂、花王工場・ミュージアム」見学を実施した。（年3回延べ69名参加）
実行委員会	ふれあいサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、地域のお年寄りや小さなお子さん連れの親子など、「誰でも気軽に集える場所」を目的にサロンを開催した。 <p>（年12回延べ278名参加）</p>

◎見守りパトロール〈通年、4委員会でも月に実施した。〉

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布に協力した。（高齢者との交流）

○ 中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもいやり」(5,500部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・ホームページを運用して地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 地区ふれあい祭り <クリスマス会> バス研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬店(焼きそば・綿菓子) ・高齢者、障がい者、子どもを対象に手作りパーティーを実施した。(226名参加) ・運営委員と地域のボランティアを対象に、「千葉県警察本部」を施設見学。(34名参加)
在宅福祉	介護予防教室 援護グループ研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象にウォーキング講習、健康体操等を実施した。(年6回延べ177名参加) ・援護グループを対象に「普通救命講習AED」を行なった(17名参加)
ボランティア育成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動 講演 五本松小ふれあい会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特別養護老人ホームにて定期的にボランティア活動「シーツ交換」を行なった。(年9回延べ139名参加) ・初富・五本松小学校、第五中学校の児童生徒がひとり暮らしの高齢者の方へお便りを出す事業及び手すきハガキ作り事業を実施した。(年4回延べ107名参加) ・初富小学校と共催で「命の授業」の講演会を開催した。 ・五本松小学校3年生と高齢者との交流会(昔あそびと給食)を実施した。(18名参加)
部会活動	あじさいグループ (ミニリハビリ教室)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中などの後遺症で体の不自由な方を対象に血圧測定、ゲーム、歯科講習等を行なった。(年11回延べ174名参加)
	サロン事業(翔友会)	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見、七夕飾り、管理栄養士による講義などを行なった。(年12回延べ384名参加) ・特別養護老人ホーム(翔裕園)の夏祭りの手伝いを行った。(2回延べ11名)

		<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（翔裕園）との情報交換を行った。（年4回）
その他	運営委員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員・地区ふれあい員・民生委員児童委員・援護グループを対象に「ゴミ分別講習」研修会を実施した。（69名参加）

○ 東部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 チラシの発行 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれあい」（8,300部）を年2回発行。号外版（事業計画掲載）を1回発行。 ・子どもの見守り啓発チラシを年3回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館協力 バス研修	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体サークル発表会に参加。（1,895名参加） ・老人クラブ、談話室の発表、道野辺小学校吹奏楽部の発表会を開催した。（836名参加） ・道野辺小、東部小児童対象に移動児童館事業に協力した。（年3回延べ181名参加） ・運営委員と個人ボランティアを対象に、(株)ヤクルト工場を見学した。（28名参加）
健康福祉	健康歩こうかい グラウンドゴルフ ミニリハビリ教室 「ほのぼの会」	<ul style="list-style-type: none"> ・健康維持のために実施した。（年2回延べ73名参加、雨天中止1回） ・高齢者を対象に実施した。（68名参加） ・障がいのある方を対象に、血圧測定、体操、ゲーム等を行った。（年12回延べ371名参加）
育成研修	地区ふれあい員研修会 ちょいボラの会研修会 救命講習 青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別に関する講習会、認知症サポーター養成講座を実施。（151名参加） ・地域の見守り、支え合いについての話しあいを行った。（36名参加） ・AED講習を行った。（37名参加） ・東部小、道野辺小学校児童を対象に「手作りおもちゃで遊ぼう」を実施した。（160名参加）

その他	東部地区懇談会	・第二中学校、道野辺小学校、東部小学校、各自治会長、地区社協役員、鎌ヶ谷警察、民生委員等と地区懇談会を開催した。(25名参加)
	ジュニア防災キャンプ	・第二中学校運動部男子生徒による、一泊二日の避難生活体験学習。(41名参加)

(ちょいボラの会)

<実績>ゴミだし 292 件、その他 1 件 (合計 293 件)

○ 西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報啓発	地区社協広報紙 福祉健康フェア	・「あけぼの」(3,600部)を年2回発行。号外版(事業計画掲載)を1回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	もちつき大会 昔遊びの会 春のおたのしみ会	・地域、地区ふれあい員の方に協力をお願いし、もちつきを行った。<西部地区ふれあいまつりと同時開催。>(311名参加) ・くぬぎ山児童センター事業に協力し、こま・けん玉・かるた等を行った。(49名参加) ・地域の70歳以上の方を対象に、日舞、西部小、第三中学校の演奏を実施した。(430名参加)
在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会) 高齢者支援教室 在宅介護者のつどい	・脳トレ、ゲーム等を行った。 (年6回延べ197名参加) ・施設を利用した「パン作りで脳トレ」と「お口のケアで元気アップ」と題して勉強会を開催した。 (年2回延べ60名参加) ・介護をしている方の悩みごとの話し合いと、包括支援センターと共催し、施設の福祉用具を体験など介護について学んだ。(年2回57名参加)

ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	<p>体操講習会</p> <p>バス研修</p> <p>わかば (健康作りの会)</p> <p>ウォーキング</p> <p>講演会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に国際武道大学の先生を招いて講習会を実施した。(38名参加) ・運営委員と地区ふれあい員を対象に、国立歴史民俗博物館を見学し、交流を図った。(32名参加) ・講師による体操教室を開催した。(年4回延べ127名参加) ・健康増進のために、くぬぎ山コミセンから市川動植物園方面で実施した。(26名参加) ・西部小学校・PTAと共催にて「命の授業」を開催した。(242名参加)
そ の 他	<p>ミニリハビリ教室 (こぶしの会)</p> <p>成年後見講演会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山地区の70歳以上の方を対象にカラオケ、ゲーム、脳トレ、血圧測定等を行った。(年9回490名参加) ・総合福祉保健センターにおいて、北部地区社協と共催で開催した。(122名参加)

○ 南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広 報 啓 発	<p>地区社協広報紙</p> <p>福祉健康フェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんぶだより」(約6,000部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
在 宅 福 祉	<p>さわやかライフ倶楽部</p> <p>高齢者バスハイキング</p> <p>地区リハビリ教室 (さくら会)</p> <p>子育て支援</p> <p>秋のおたのしみ会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康体操を実施した。(年4回延べ185名参加) ・一人暮らしの高齢者を対象に、キッコーマン工場の見学等で交流を図った。(37名参加) ・障がいのある方を対象にグラウンドゴルフ、健康講話、お話会等を行った。(年11回延べ140名参加) ・食育、3B体操、人形劇を実施した。(年3回延べ56組参加) ・談話室と保育園の交流会を行った。(119名参加)

事業	(災害時支援部会) 南部ふれあいの集い	<ul style="list-style-type: none"> ・日本災害救助犬協会の協力を得て「災害時における救助犬の役割」について学んだ。 (80名参加)
	防災倉庫点検	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備品の使用確認等を行った。(10名参加)
	(地域交流部会) 道野辺保育園交流	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の手入れや園行事の参加をとおして園児との交流を図った。(年4回延べ10名参加)
	南児童センターとの交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム大会、春まつり等に参加し交流を図った。(年3回延べ9名参加)
	南部芸能交流大会	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会対象に実施した。(88名参加)
	南部いきいきサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に喫茶コーナーを設け交流を図った。(年5回延べ207名参加)
	公民館まつり参加	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談、喫茶コーナー、活動展示で地域交流を行った。(21名参加)
	グランドゴルフ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象にグランドゴルフをとおして交流を図った。(103名参加)
	(なんぶ孫の手会部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア(ゴミ出し312、施設ボランティア等111、その他1)活動を行った。 (年間424件)
	ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア入門講座に参加した。(5名参加)
	孫の手バス研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ビール工場と間宮林蔵記念館の見学を実施した。 (32名参加)
	のびのびルーム支援	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、クリスマス会等に参加した。 (13名参加)
その他	慈祐苑の納涼祭支援	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の介助ボランティアとして参加した。 (23名参加)

○ 北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	・「北部地区社協だより」(3,000部)を年2回発行。
ふれあい交流	ふれあいお楽しみ会 ふれあいバスハイク おせんべい焼き	・高齢者の交流と閉じこもり防止を目的に、おしゃらく踊り、花笠会、軽体操等で交流を図った。(77名参加) ・ひとり暮らしの高齢者対象に、海ほたるへ行き交流を図った。(35名参加) ・栗野コミュニティセンターの事業に協力し、おせんべいを焼いたり、昔あそびを通して、交流を図った。(55名参加)
在宅福祉	介護予防教室 友愛訪問	・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を対象にスポーツインストラクターによる軽体操、栄養士による食生活についての講話等を実施した。(年3回延べ111名参加) ・ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯(480名)へ品物を持って訪問し、安否確認を実施した。
ボランティア育成	健康体操 公開講座	・地域の方を対象に、健康運動指導士によるすり足予防等、軽体操を実施した。(年10回延べ345名参加) ・地域の方を対象に、健康講座、障がい者福祉制度について等の講座を行った。(年8回延べ345名参加)
その他	福祉健康フェア 北部ふれあいまつり 北部地区地域高齢者支援会議 成年後見講演会	・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ・地区社協の活動内容のパネル展示、炊き出し用具等の災害備品展示を行った。(2,000名参加) ・北部地区の高齢者の現状と支援について意見交換を行った。(年2回延べ40名参加) ・総合福祉保健センターにおいて、西部地区社協と共催で開催した。(122名参加)

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等、ボランティア活動の推進に努めた。また、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、ボランティアをテーマとした福祉講座にも協力した。また、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(9月3日:78名参加)を実施した。訓練の実施に向けて職員運営スタッフによる事前研修を行った。(8月16日、24日)

①□ 相談・活動状況

相談件数	3,578 件
斡旋件数	643 件

②登録状況

ボランティア団体(40 団体)	1,044 名	災害ボランティア保険加入者 (13 名)
個人ボランティア	157 名	
合 計	1,201 名	

○事業の内容等

事業名	開催日	参加者
ボランティア入門講座	6月15日	37名
市民ボランティア体験講座 (前期9コース・後期7コース)	7月9日～7月24日(前期) 2月1日～2月21日(後期)	23名 8名
夏休み福祉講座(6コース)	8月2日～8月27日	36名
災害ボランティア養成講座	11月16日	19名
ボランティア活動スキルアップ講座	3月2日	26名

○講師派遣(ボランティア活動等に関する広報及び啓発)

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座(こども課)	5月20日	10名
ブックスタート事業(健康増進課)	7月30日	16名
ボランティア合同定例会(健康増進課)	1月30日	40名
福祉講座(中部小学校5年生)	10月25日	児童148名 ボランティア33名

福祉講座(初富小学校手話クラブ)	11月1日	児童4名 ボランティア2名
福祉講座(道野辺小学校5年生)	11月2日	児童119名 ボランティア29名
福祉講座(初富小学校 JRC 委員会)	11月29日	児童24名 ボランティア10名
防災訓練(南初富連合自治会)	11月20日	参加者210名 ボランティア9名
防災訓練(東武鎌ヶ谷駅前自治会)	3月26日	参加者180名 ボランティア10名

4 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や心身に障がいのある方、子育て中の方が日常生活でお困りのとき「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助の福祉サービスを実施し、利用会員の自立を目標に、在宅福祉の増進に努めた。

○活動状況

協力会員	登録者数	44名
	活動人数	24名
利用会員	登録者数	57名
	利用人数	43名
延活動利用回数		929回
延活動利用時間数		1,354時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録・更新説明会 講演「認知症を理解するために」(認知症サポーター養成講座)	4月6日
講義「口から始めるアンチエイジング」 実習「口腔ケア」	9月6日
調理実習「夏場の食事づくり(お年寄り編)」 講義「食中毒などの食品衛生上の注意」	10月19日
講義「子どものいる世帯の様子を学ぶ」	1月31日

実習「子どもとのコミュニケーションを学ぶ」	
調理実習「子どものいる世帯の食事づくり」 講義「子どもの風邪予防について」	2月21日
講義「対人援助の方法」(傾聴)	3月3日

参加延人数 103名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、リフレッシュ事業を開催し日頃の介護疲れを癒し、介護者同士の情報交換の場として、月1回実施した。

また、高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行った。

(事業内容)

内 容	開催日
ネイチャーゲーム (ゲーム、クイズ等)	4月13日
介護体験等意見交換	5月16日
バス交流会 (ふじっこ工場見学)	6月17日
やさしいヨガ	7月8日
介護に関する講義及び実習	8月10日
手工芸教室 (押し花のキーホルダーづくり)	9月15日
ミニコンサート (ハーモニカ演奏と歌)	10月17日
暮らしに役立つ減塩料理の調理実習と講義	11月15日
クリスマス会(コンサート)	12月16日
新年会 (かまがや笑福おどり)	1月18日
アロマセラピー	2月14日
講演会「認知症への理解」～認知症とは～	3月13日

参加延人数 139名

○地区別「在宅介護者のつどい」

- ・在宅介護の現場で介護する家族の孤立を予防する一助として、西部地区社協の協力により地区懇談会を実施した。(年2回開催)

5 相談事業

(1) 心配ごと相談 (毎週水曜日 10:00～14:00)

開催日数は48日であり、民生児童委員10名、学識経験者4名で相

談にあたった。

(2) 心の相談（毎週月曜日、金曜日 10:00～15:00）

開催日数は82日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・延べ件数

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	3	0	0	0
2	年金問題	0	0	0	0
3	職業・産業問題	0	0	0	0
4	住宅問題	0	3	0	0
5	家族問題	16	9	41	38
6	結婚問題	0	0	0	0
7	離婚問題	2	1	0	0
8	健康・衛生問題	0	0	13	13
9	医療問題	0	0	2	1
10	精神衛生問題	0	7	0	0
11	人権・法律問題	3	0	0	0
12	財産問題	0	0	0	0
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	1	0
15	教育・青少年問題	0	0	0	0
16	心身障がい者（児）福祉問題	1	0	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	1	1	0	0
19	苦情問題	1	0	0	0
20	その他	8	4	3	5
	合計	35	25	60	57
	総合計	60		117	

○相談員研修会

相談員を中心に社協職員研修を兼ね日頃の相談業務に役立つ研修会を開催した。

開催日	平成29年3月23日
講師	ちば心理教育研究所 臨床心理士 常山 吾朗 氏
内容	講義 「相談を受ける基本姿勢と課題整理を目的とした傾聴について」

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 154件（延べ相談件数338件）

(1) 福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

○低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。

・滞納世帯 3件

○年度末貸付額293,760円

<社協65,000円（3件）、社会福祉課取扱い(要保護世帯)228,760円>

(2) 生活福祉資金（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

○低所得世帯、身体障害者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

・貸付申請(決定)額 2,371,275円（16件）

資金種類		貸付額	件数
福祉資金	福祉費(転宅)	286,475	1
福祉資金	緊急小口資金(医療費4、初回給与3、失業給付3、家賃更新2)	875,800	12
教育支援資金	教育支援費(大学1、高校1)	1,035,000	2
不動産担保型生活資金	要保護世帯向け	174,000	1

<不動産担保型生活資金・要保護世帯向け 簡易鑑定2件>

○生活福祉資金の償還状況

・年度末償還中世帯 116件

(総合53.福祉(福祉)15.福祉(小口)26.教育18.離職3.復興支援1)

・平成28年4月～平成29年3月間の償還率は18.10%

(3) 臨時特例つなぎ資金（受託事業〈実施主体：(福)千葉県社会福祉協議会〉）

○住居のない離職者で、公的給付制度等を申請している方の、当面の生活費を支援するための貸付。

・償還期間に入っている世帯 1件

(4) 償還を促す指導

○「償還残高のお知らせ」等の送付(年4回)〈借受人、連帯借受人、連帯保証人、担当民生委員〉

○督促状の送付((福)千葉県社会福祉協議会及び本会より)

○借受世帯への訪問(43件)

7 地域福祉権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

地区社協や民生児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。また福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。

①□ 相談・訪問調査等

区 分	相談受付人数	初期相談・訪問調査延べ件数
高齢者	14	145
知的障がい者	1	0
精神障がい者	8	82
上記以外	1	11
合 計	24	238

*相談受付人数の内、生活保護受給者10人

②利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	6
精神障がい者	4
合 計	10

*利用契約件数の内、生活保護8件

③生活支援員状況

区 分	人 数
登録者	1
現任者（活動者）	7
合 計	8

*内、今年度新規登録者2名

④関係機関との情報交換

日常生活自立支援事業への理解と権利擁護問題に関して、市権利擁護部会にて、行政及び民間団体と相互に連携し情報交換を行った。

(2) 成年後見制度の啓発事業

①講演会等（西部地区・北部地区社協合同）

- 11月21日 総合福祉保健センター6階 参加者122名
 - ・成年後見落語「後見爺さん」落語家 桂ひな太郎 師匠
 - ・落語家と後見人経験者との経験談話

②相談会

期日	会場	相談件数	相談内容
12月20日	市社協・相談室	2	① 遺言書の書き方等 ② 任意後見制度の利用等
1月7日	市社協・相談室	2	① 遺言書・相続税等 ② 後見人について

8 善意銀行

○寄付金総額 2,136,046円（36件）

①金銭の払出し (円)

払 出 先	金 額	備 考
地区社協	207,414	目的別寄付：10,000円 活動助成金：197,414円
ボランティア・福祉団体等	190,733	目的別寄付
小中学校	327,778	児童生徒への支援
要援助者支援	41,600	災害見舞金等、帰宅旅費等
合 計	767,525	

○寄付物品（8件）

○物品の払出し

払出先	物品名
福祉教育体験用	福祉体験用器材2つ
防災訓練等	非常食1日3食 400セット
高齢者給食	米30キロ
地区社協等	文具一式
すまいる祭り	クリスマス菓子セット392袋
市内福祉施設	タオル150枚
社協（貸出用）	車椅子2台

9 受託事業

(1) 福祉作業所友和園（指定管理者制度）

法定事業所（就労継続支援B型と生活介護）の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を行った。所員の定員は就労継続支援B型20名（在籍は16名）、生活介護10名（在籍12名）であった。

新規のサービス事業として、生活介護利用者の送迎サービスを開始した。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事などいろいろな機会をとおして、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行った。また、作業指導の面では、ラベル貼り、菓子箱折り、部品の袋詰め等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、アルミ缶・ペットボトル回収の作業を行った。

また、自主生産として、ブレスレット、ストラップ、紙すき製品などを作り販売した。工賃収入として、1,625,880円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回個別支援計画の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し、施設内外の情報提供に努めた。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用289回〉、団体活動室〈年間利用313回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金(10月～12月実施) (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	29 自治会	5,558,190
学校募金	市内小、中学校、高等学校	193,114
法人募金	商店、会社等 273 件	889,644
その他募金	職域、個人、団体等	129,195
合 計		6,770,143

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	29 自治会	3,581,226
その他募金	法人、個人、団体等	279,797
合 計		3,861,023

○配分 (円)

区 分	配分先	金 額
要援助世帯	58 世帯 (生活困窮者へ緊急的支援、福祉ニーズに対する支援含む)	2,328,000
市民入所施設	21 施設	630,000
市内施設・団体等	17 件	680,000
合 計	96 件	3,638,000

平成28年度 事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月

社会福祉法人 鎌ヶ谷社社会福祉協議会